

令和4年度 災害・健康危機対策委員会 活動報告

<p>■委員名</p>	<p>委員長：神崎初美 副委員長：雑賀逸平 委員：山本美鈴・我有かずよ・橋本しのぶ・緒方由美・草野一恵・亀井美紀 中原雅子・小田垣かおる・藤本剛司・並河直子・西口久代・中野奈保子</p>																														
<p>■開催回数</p>	<p>6回 *委員会の他、災害支援ナース養成研修や新型インフルエンザ等研修会の企画・運営、防災訓練等への参加</p>																														
<p>■活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域における連携支援体制の構築及び、災害発生に備えた体制強化、知識・技術の普及啓発 2. 健康危機関連規定集の見直しと充実化を図る。 3. 災害支援ナースの登録推進・育成研修 4. 地域の防災訓練への参加。地域住民への減災教育、防災力強化の取り組み 5. 新興感染症への看護支援体制の強化 																														
<p>■活動内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会において、各施設の災害・健康危機の対策の現状課題を把握するためのアンケート調査を実施し、実効性のある効果的な地域連携方策、研修企画等について協議する。 協会メールインフォを活用し実施。 2. 受援マニュアル策定ガイドの周知と、規定集追記および新型コロナウイルス感染症に関する対策等を含めた内容を検討する。 研修の際に、受援マニュアル策定ガイドの周知を図った。 3. 災害時の受援体制に関するアンケートを本会メールインフォ登録会員施設に実施 4. 災害支援ナース養成研修・災害支援ナース対象研修の企画・運営 災害支援ナースの養成研修、フォローアップ研修、(交流会)を通じて、活動へのモチベーションの維持向上につながった。 特に交流会では、J-speedの演習等、派遣時に必要な内容を取り入れた。避難運営訓練を予定している。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">災害支援ナース（基礎編）</td> <td style="padding-left: 20px;">7月26・27日</td> <td style="padding-left: 20px;">38名</td> <td style="padding-left: 20px;">7月28・29日</td> <td style="padding-left: 20px;">24名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9月27・28日</td> <td>35名</td> <td>9月29・30日</td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">災害支援ナース（実践編）</td> <td>8月19日 OL</td> <td>31名</td> <td>10月14日</td> <td>54名 (OL19名)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">災害支援ナース交流会</td> <td>9月14日 OL</td> <td>43名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">災害支援ナース研修・交流会（避難所運営訓練）</td> <td>12月15日</td> <td>43名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">災害支援ナース登録者数</td> <td>124施設</td> <td>363名</td> <td colspan="2">(令和5年3月現在)</td> </tr> </table> 5. 受援・支援活動の強化推進を目的として、体制整備の推進、研修企画、啓発活動を実施した。派遣調整訓練はなし。地域の防災訓練参加調整により災害拠点病院等との連携協働体制の強化を図った。 6. 看護協会ホームページ等への災害看護や防災についての情報提供 令和4年10月22・23日ぼうさいこくたい参加、実際の災害支援活動や災害訓練等展示。 	災害支援ナース（基礎編）	7月26・27日	38名	7月28・29日	24名		9月27・28日	35名	9月29・30日	22名	災害支援ナース（実践編）	8月19日 OL	31名	10月14日	54名 (OL19名)	災害支援ナース交流会	9月14日 OL	43名			災害支援ナース研修・交流会（避難所運営訓練）	12月15日	43名			災害支援ナース登録者数	124施設	363名	(令和5年3月現在)	
災害支援ナース（基礎編）	7月26・27日	38名	7月28・29日	24名																											
	9月27・28日	35名	9月29・30日	22名																											
災害支援ナース（実践編）	8月19日 OL	31名	10月14日	54名 (OL19名)																											
災害支援ナース交流会	9月14日 OL	43名																													
災害支援ナース研修・交流会（避難所運営訓練）	12月15日	43名																													
災害支援ナース登録者数	124施設	363名	(令和5年3月現在)																												

	<p>7. 地区の防災訓練、災害対策会議等への参加 1. 17ひょうご安全の日のつどいに参加 三角巾を用いた応急処置 兵庫県総合合同防災訓練に災害支援ナースを派遣。地区防災訓練は、姫路市、三木市。兵庫県の災害対策会議、感染症対策会議等に出席</p> <p>8. 新型コロナウイルス感染症（新型インフルエンザ等感染症）研修会の企画、運営 新型コロナウイルス感染症をテーマとして、オンライン研修会を開催 令和4年10月25日 参加者51名</p>
<p>■活動の評価</p>	<p>災害支援ナースの育成13年目となり、約360名の登録となっている。今年度登録更新年度の該当者が多いが、コロナ禍で地域での防災訓練参加機会が少なかったため、駆け込み研修受講があり、3年間で計画的な自己研鑽の啓発が必要である。また、平時の施設内での活動・役割を発揮することの啓発が必要である。</p> <p>コロナ禍においても、感染防止対策を徹底し、災害支援ナース養成研修を実施した。基礎編を4回に分けたことでコロナ禍での受講機会の拡大ができた。演習がある交流会や、最新情報の提供は、災害支援ナースの活動意欲維持につながったと思われる。</p> <p>災害時受援マニュアル策定ガイドを配布後1年経過したが、研修参加者の半数が知らない、知っているが活用していない4割であり、さらに施設内での活用を推進する。</p> <p>また、災害時の受援体制に関するアンケート結果から、受援体制構築への支援の必要性がうかがえた。</p> <p>コロナ禍での経験から平時からの災害・健康危機時の地域でのネットワークづくりが課題である。</p>
<p>■今後の課題</p>	<p>連携協働体制の強化のための平時からの地域でのネットワークづくり</p>